

霞丘コミュニティ協議会 連島霞丘地区社会福祉協議会だより

# かすみ

第6号

発行  
平成30年3月  
発行責任者  
会長 佐分利 正志

## 『地域の絆を大切に』

霞丘コミュニティ協議会  
連島霞丘地区社会福祉協議会  
会長 佐分利 正志

例年になく、全国的な大寒波に見舞われた時期もようやく終わり、日増しに暖かさを感じるようになってまいりました。

思い起こしますとこの時期、23年前に発生した阪神・淡路大震災（平成7年1月17日）7年前の東日本大震災（平成23年3月11日）等で地域が分断され、「コミュニティ」というものの大切さを痛感させられました。

地域の課題として、少子高齢化、独居世帯、介護等、行政だけでは解決が困難な問題について、地域の皆様と話し合い助けあって、明るく住み良い、安全かつ安心できる、心の通う地域づくりをする為の活動が必要と考えます。

その為には、町内会を始めとして各種団体

との連携が必要不可欠です。

相手の立場に立った、本音の話し合いの中から協力と連携は推進できるのではないのでしょうか。

また、新たな人々にも加わって頂き、新しい風を吹き込むことにより、活性化を図ってまいりたいと考えています。

組織人事面では、青壮老のバランスをとりながら、各々の力を結集してまいります。

この豊かな自然に恵まれた私達の住んでいる地域から孤立者を出さないように、皆様と共に協力していきましょう。

最後になりましたが、本年度もコミュニティ協議会と、地区社会福祉協議会の活動につきまして、各部の皆様、

お手伝い頂いた多くの

関係者の方々の、労を惜しまぬご支援ご協力

によりまして、計画通り終えることが出来ました事を心より感謝申し上げます。



## 民生委員・児童委員になりました

前任の安原資祐氏よりバトンを受け継ぎ二年目。未だに、地区の住宅地図や住民の皆様がなかなか把握できないです。困ったものです。どうかお許しください。



一年目は、各種研修等の受講機会が多く、役割の大きな変革を痛感しました。

でも、主たる感動である「高齢の一人暮らしの方の見守りやお声掛け」と

「子供達への声かけ」をしているうちに、だんだんと、出来る事を無理せずに行らせていただくと思うようになりました。

自転車のペダルを踏みながら、今日は誰と会えるかな元気がなく何か困っていることはないかななどと、あれこれ思いながら、ウロウロと巡回しています。

道で見かけたらどうぞお声をかけを！

また、皆様のご近所でお困りの方がおられたら、是非情報をお寄せください。今後ともご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

(渡邊 光子)



### 霞丘小学校は地域と共に

くすみつ子は個性を大切に  
豊かに伸びています

霞丘小学校長 永瀬 通子

今年度も、保護者や地域の皆様にも、多大な協力や応援をいただき、「かすみつ子」たちは、充実した学校生活を送り、それぞれのもてる力を存分に伸ばすことができました。心より感謝申し上げます。

今年度の児童数は九名。倉敷市内で最小規模校ですが、子どもたちはそれぞれ個性豊かで元気いっぱい、可能性に満ちています。霞丘小学校では、この少人数を生かして愛情いっぱい一人一人の個性を大切に、個に応じたきめ細やかな指導をしています。また、「元気に登校、笑顔で下校」を合言葉に、互いの人権の尊重される、子どもたちにとって居心地の良い学校を目指しています。

地域の皆様には、今年度も、「運動会」「人権講演会」「学芸会」「絵本の読み聞かせ」「廃品回収」「玄関の生け花」「壁面花壇の花植え・管理」「運動場の草取り」「留学生との交流会」等、たくさんのご協力をいただき誠にありがとうございました。



学芸会 (12月2日)



運動会 (5月20日)



絵本読み聞かせ(年間10回)



あいさつ運動 (毎月10日)

本校の教育活動、環境整備にご協力、ご尽力くださったすべての皆様に、心よりお礼申し上げます。  
来年度も、子どもたちの豊かな学びと健やかな成長のために、保護者の皆様、地域の皆様と手を携えて教職員一同、最善を尽くしてまいりたいと思っておりますので、どうかご支援をよろしくお願いいたします。

### 弁財天福寿会

『ピンピン・コロリ』という言葉が流行っているそうです。

先日、独居世帯が、20年後には国民の約4割にあたる2千万世帯を超える為介護や見守りが急増する(社人研)との発表がありました。

弁財天福寿会では、お互いに話し合っ  
て助け合っ、一日でも孤独な暮らしを  
無くするように活動していきたいと努力  
しています。

自分だけは大丈夫と思わず、少しでも  
老後の日々を楽しく過ごしませんか？

子育てを終え、仕事(農業を含む)を定  
年になった方々が自炊とテレビの生活に  
なり、急に老化した人を、いっぱい目に  
してきました。

「自分はまだ若い！」と思わず、今日の  
一歩から始めましょう。

一歩踏み出すと、楽しいですよ・・・  
(運動、趣味、勉強と何でもあります。  
次回から内容を、個々に紹介します)

(弁財天福寿会 会長 木村 常之)





## ゴルフ愛好会トピックス

今年度3回目のコンペを平成29年10月31日(火)に岡山御津CCにて開催しました。

今回は、ゴルフ場に全てお任せして賞品を『肉』にしてみました。

コンペの優勝者は、当會長老のY原さん。高級な千屋牛をゲットしました。

ところが話はこれだけではないのです。

ゴルフ場主催のコンペにも参加したのですが、100人を超える参加者のうち優勝したのがまたY原さん。まさに快挙です。

もうすぐ八十路になるうかという方がまったくもって元気な事です。(一同脱帽)

ゴルフ場発行の成績表を、町内の掲示板に貼りたいくらいです。

他にも、十位毎の飛び賞が5人。なんと11人中6人も賞品(肉)もらえたのです。

夕食のすき焼き。しかも高級肉。うらやましい限りです。

他の人の、プレーの方に目を向けると、飛ばし屋のN添さんと、若者代表のH茂君との飛ばし対決の行方は、一人が真ん中に飛ばすと、もう一人があらぬ方向に打つという具合で、どちらも優劣つけがたい勝負だったようです。次回に期待です。

S分利さんにいたっては、70歳手前にも拘わらず、足の不調を口実に「高齢者用の場所から打たせていただきます」と宣言。

いつもなら、ボールは曲がって飛ぶのに賞のかかったホールでは、ほぼ曲がらず。

おかげで、一番遠くに飛ばす賞をもらいました。

また朝のスタートから、グリーン周りにクラブを忘れたり、旗竿を立てずに次のホールに行ったり、普段では考えられない珍プレーがあつたり、反省会での話題には事欠かないコンペでした。

お楽しみのおふれあいハウスでの反省会は、毎度のことで大盛り上がり。

時が進むにつれ、大先輩のW優勝に敬意を表し、いつしか祝賀会と化しました。

優勝スピーチの「パートナーに恵まれて・・・」の言葉を聞き、盛会のうちにお開きとなりました。

幹事のT輝さん、

O羽さん、  
大変ご苦労様でした。

(米田 廣)



## 主任児童委員

我が子が霞丘小学校に通っていた当時は、一学年三クラスの学年もありましたが、JFEの事情でそれから児童がどんどん転出して行きました。



地域の子供の数がどんどん減っていったも、子供達が何の悩みもなく、笑顔で安心して生活できるようにと思ひ、私は主任児童委員の仕事を引き受けました。

我が子は地域で育てられたので、地域に恩返しのおもひもありました。主任児童委員は、子供の福祉に関わり組んでいます。



子育て、虐待、いじめ、不登校、非行など子育て家庭をめぐる課題の多様化の中にあつて、子供達にとつての「身近な大人」として、親や学校の教員とは異なる立場から、子供達の相談相手や支援者となる必要があります。

「子供は社会を映す鏡」です。子育てで家庭の孤立防止や子供達の健全育成のため、子育て、子育てを応援する地域作りに取り組んで行きたいと思ひます。

(渡邊 智恵美)



### 体育部活動を振り返って

体育部 部長 三宅 通

霞丘学区コミュニティ発足当初から関わっていた体育部部长を、このたび退任する事になりました。

この十数年を振り返ると、いろいろな思いが駆け巡ります。



毎年の霞丘小学校の運動会には、皆さんの町内の皆様に参加していただき、盛大に盛り上げていただきました。大変感謝しています。

最初の頃は、参加者がみんな若く、連島北小学校までのウォーキングをしたり、弁財天町内を一周した後ふれあいハウスでビンゴゲームに興じたり、それらが今とても懐かしく思い出されます。

この様に、町内の皆様が集まることのできる機会を継続してもらいたいと、願っています。

各部主催の行事が、来年度も計画されていると思います。これからたくさんの方が加され、この町内、この学区が活気あふれるふるさと(故郷)になるように望んでいます。最後になりましたが、たくさんの方々にご挨拶お世話になりました、ありがとうございます。

### 消火器訓練

消火器は、各家庭で持たれていると思いますが、いざ火災が発生したら、あわててしまつて何もできない事が多いそうです。そこで防火防犯部の主催で、昨年2月に

ふれあいハウス前広場で、消火器の正しい使い方を学びました。参加者(約50人)は、実技を含めて、みんな真剣そのものでした。あつてはならない火災ですが、火を出さないのが一番。もしも火災になった時には、初期消火はもちろんですが、大声で人の助けを求めるとも必要です。

① 消防署に連絡し、その間に消火を試みる。  
② 消火器だけでは、消せません。  
③ 火元の当事者は、あわてて財布とか持つて出ない(命が一番大事です)

というような事を、学習しました。消防が到着時に、もしも消されていても決して怒られないそうです。万が一、消火器を使わなければならぬ時は、一呼吸置いて落ち着いて、次の方法で行ってください。

- ① 黄色い栓を引き抜く
- ② ノズルを、火元に向ける
- ③ レバーを強く握る



消火訓練

これだけなのです。

(防火防犯部 部長 三宅 誠)

### 連島北学区ミニ健康展

平成29年6月15日「連島憩いの家」で開催されたミニ健康展に参加して来ました。当日は72名もの多くの方の参加があり、それぞれ体脂肪、骨密度、足裏、血流、血圧、握力の測定をし、その結果を元に、保健師の方にアドバイスをして頂きました。



また、栄養改善の方々、朝早くから準備して下さった、野菜をたくさん使った料理を、みんなでおいしくいただきました。



30代から80代までの幅広い年齢層だったので、和気あいあいとした、和気あふいと楽しい時を過ごす事ができました。

(愛育部支部長 三宅 芳佳)

### 編集後記

『かすみ』だより第6号を発行するにあたり、今回もたくさんの方々に、ご協力を頂き有り難うございました。

これからも皆様方のご意見をお聞きしながら、内容の充実に向けてまいりますので、よろしくお願ひ致します。編集委員一同



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受け、発行しています